

宮崎日日新聞社提供

介護、防災など39分野

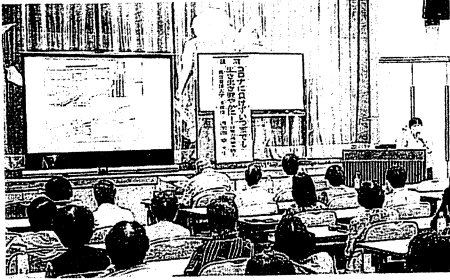
県立看護大が出張講座

県立看護大(平野かよ子

い」と呼び掛けている。

学長)は今年、教授らが講師となつて地域に出向く講座「出張! ひむかアカデミア」を本格始動した。中山間地を含む県内全域が対象で、介護や防災、子育て、生活習慣病予防など幅広い学習テーマに対応。同大学は「学びたい内容、会場など要望に合った講座が可能。ぜひ活用してほしい」と呼び掛けている。

昨年10月に新富町で開催された県立看護大の出張講座。町民が新型コロナウイルスの感染対策について学んだ(県立看護大提供)



研究成果広く還元

「防災」「食育」「感染症対策」など多彩。小中高校生が対象の性教育、妊婦向けの子育て講座も受け付けるほか、看護職のスキルアップを目的とした専門講座もある。

同大学は宮崎市まなび野3丁目のキャンパスで公開講座を行っているが、遠方から受講しづらい現状もあるという。大学の専門性や研究成果をより広く還元しようとアウトリーチ型も模索。昨年1月に自治体と福祉団体向けに運用を始め、今年1月から一般県民を対象を拡大した。

昨年10月には新富町の高齢者学級から依頼を受け、新型コロナウイルス対策の講座を実施。邊木園幸准教



県立看護大の出張講座「出張! ひむかアカデミア」の窓口を担う看護研究・研修センターの職員ら

授(感染看護学)が効果的な手洗いの仕方や正しいマスクの着用方法を指導した。ブラックライトを手に当てて洗い残しがないかをチェックするなど体験型の内容

が好評で54人が受講。同町の担当者は「楽しみながら知識を深められ、参加率も高かった。別のテーマでも受講を予定している」と話す。

同大学看護研究・研修センターの長鶴美佐子センター長は「県民や看護人材の学習支援は本学の役割の一つ。教員にとつて研究フィールドの開拓にもつながり、受講者と大学双方にメリットがある。いろんな人に利用してほしい」と話している。

受講できるのは県内在住、在勤、在学者で、5人以上の参加が条件。講師料は無料だが、交通費は依頼者が負担する。希望者は同大学ホームページでダウンロードできる申込書に必要事項を記入し、同大学看護研究・研修センターに申し込む。同センター ☎098-5(59)78333。

(甲斐延明)